

3面からのつづき

支部だより

熊本県宇土支部

九州支部協議会

熊本大会の開催

熊本大会は、十月二十一日泊二日で熊本天草において開催されました。地元の宇土市長、県議を来賓に迎え開催地山下支部長の歓迎挨拶、濱武支部協議会会長からは各支部課題を抱える中、本大会において情報を交換し課題を克服しようと挨拶されました。勝野会長からは日頃の活動に労いの言葉をいただきました。

総会では会員の高齢化・会員拡大・事業費・ボランティア保険等々多くの課題が出され活発な意見交換が行われました。勝野会長から善行会現場の声を持ち帰り全国支部の活動に役に立てるようさらに情報発信を図る旨の回答をいただきました。

夜は、会員相互の友情の輪が開く大会恒例の懇親会、今回は勝野会長の同席に各支部競い合いの余興にも熱をおび賑やかな交流の場となりました。



福岡県北九州支部

春季・特別善行表彰伝達式の開催

北九州支部は今回伝達式を三ブロックにおいて開催しました。

六月二十六日行橋市長室で田中純市長のご出席をいただき、永野事務局長の司会で野村支部長より出席者の紹介、受賞者へのお祝いの言葉がありました。受賞者末松六則様へ市長より表彰状、銀賞が手渡され祝辞をいただきました。末松様の謝辞が述べられた後、事務局より閉会の言葉があり記念写真となりました。

緊張感のある内にも和やかな伝達式でした。

六月二十八日北九州市

東京都板橋支部

本年も恒例の板橋区民まつり会場に於いて秋晴れの十月二十日、「なつかしさと新しさに出会える町」のスローガンのもと板橋支部有志の方々が折鶴を配布いたしました。

毎年楽しみにしている方々もいて、笑顔で受け取っていただきました。



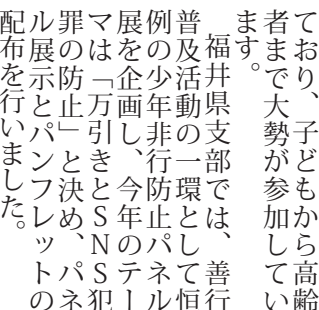
福井県支部

地域の宝・少年を非行から守ろう パネル展の開催

九月二十三日(日)、福井県支部(支部長中嶋光子)は福井市和田地区の「ふれあいまつり」において少年非行防止パネル展を開催しました。

この催しは、文化の向上と地域の安全安心を守り住民の連携を図るため毎年この時期に開催されており、子どもから高齢者まで大勢が参加しています。

福井県支部では、善行普及活動の一環として恒例の少年非行防止パネル展を企画し、今年の特展は「万引きとSNS犯罪の防止」と決め、パネル展示とパンフレットの配布を行いました。



ふる里白慢

兵庫県支部

世界文化遺産国宝「姫路城」と町なみ!

ひめじ↓日女道↓姫道↓姫田家が一六〇二年に入府し、現在も呼ばれている大変美しい地名「姫路」が誕生しました。現在では、「姫路城、はくろ城、しらすぎ城と呼ばれています。

池田家が入府してから一番に町なみ、外堀、中堀、内堀と左まわりの三重の堀に取り組みました。その次は、現在でも残っている街づくりに力を入れました。豊臣時代は、城の東側を南側に諸国の旅人、大名が姫路を通行する時、南側に替えていきます。その時に新しい町なみ二階町の建物を東西、約八〇〇mの町なみが残っている。変わった町名では、「魚町」「忍町」池田家は、忍者が五十九名も居たようです。内堀地には、上級武士、中堀地には、下級武士と豪商人が住み、外堀地には一般町民が暮らしていました。内堀地には、家が約四〇〇軒あり、番地が皆、本町六十八番地で現在生活している有名な住所になっている。その中でおもしろいビルがあります。ガラス張り



五階建て、中央エレベーターで屋上に昇ると正面に「世界文化遺産国宝姫路城」がパノラマのように眺められるイーグレ姫路ビルがあります。最高の場所です。一度は見てください。

日本のお城は黒色と白いお城があります。黒い城は豊臣家の時代、白いお城は徳川家の時代に「姫路城は黒色から白色に！建物を大きく見せる！拡張しています。お城の外観は五層内部は地上六階、地下一階計七階建てになっています。奇数階です。

連立式で大きい天守、小さい天守三と四つの天守が連なっています。大天守の心柱は東と西に、地下室より大天守を支えています。東心柱は直径九七cm、高さ二四・八m「モミ」の木です。天守三階に上ると、体感出来ます。この城世界文化遺産に指定されて今年で二十五周年ということで、日々観光の人が多く来城されています。ぜひ、一度はお待ちしています。

大分県大分支部

福祉施設を芸能慰問

九月二十八日、松井猛支部長をはじめ、芸能奉仕班長、帆玉澄子副支部長、佐藤満洋、立川寿副支部長、部長ほか十五人が、大分市高江の「ライフサポーターまなと」を訪問、芸能奉仕活動を行いました。

同施設では敬老行事の一環として、この芸能奉

当日、会場の公民館に設けられた展示コーナーでは、パネルの前で支部会員がユニホームのベストを着用して説明を行い、日本善行会のパンフレット、福井県支部記名入りのポスター、非行防止連鶴などを配って犯罪の実態とその防止を訴えました。

パネルの前には、小学生や父兄が集まり、会員の説明を熱心に聴き、いろいろな質問も出ていました。

中学校一年の男児は「中学生になつてスマホでSNSを始めましたが、変なサイトにはクリックしませ



仕を歓迎してくれましたので、会場と舞台が一体となつて大いに盛り上がりしました。

初めに敬老表彰が行われ、続いて芸能舞台となりました。

幕開けは松井支部長の作詞作曲の民謡「海舟・龍馬豊後路をゆく」で、舞台の途中で健康体操二種を挟んで、民謡「コッソツ節」「水郷音頭」、踊り「おてもやん」、歌謡浪曲「依屋玄番」、踊り「壺坂情話」、詩吟「長寿賛歌」、民謡「大分めじろん音頭」などが続き、約一時間半を楽しんでもらいました。

善行川柳

選者 東 逸平

○衣食住 足りて健康 今日 幸
北海道 齊藤 勉
評/同じ作者から3編の応募がありましたが、平和日本の幸せを詠んだこの句を選びました。世界には食べる事も出来ない人達のニュースが溢れているのに、「衣食住」という言葉が新鮮に聞こえますね。

○時の風 いつしか疎ら 移りゆく
静岡県 真野 和代
評/俳句作者らしい用語を感じられますが、もう少し主題が分かるように詠むと良いですね。

○ボランティア 交わす笑顔で また明日
香川県 丸野 忠義
評/ありのままを素直に詠みました。情景が目の前に浮かんできます。

○施設慰問 稽古の成果 引つ提げて
大分県 佐藤 満洋
評/《引つ提げて》が少し気になりますね。稽古の成果ですから、琴とか和楽器かな? 成果は如何でしたか? 相手の喜ぶ笑顔が見えたかったですね。



郷土の森公園 長屋門
画 穴井頼壽(善行表彰選考委員長)